



ボールを追う、少女たちの挑戦



ドリブルで、相手をかわしゴールに向けて突進



体重移動を素早く行い、相手をかわす練習に熱が入ります



「負けないよ！」ボールを追う姿は真剣そのもの

「来年2月に開催される全国大会に、二年連続して出場することが目標です」と話す中島さん。少女たちによる、チーム一丸となつての挑戦は続きます。

川越女子ジュニアサッカークラブは、小学生を対象としたサッカークラブです。平成11年に設立し、今年で十年目を迎えます。現在メンバーは、5・6年生が中心で、総勢十七人。練習は、毎週土・日曜日の午後、入間川の河川敷にある霞ヶ関東運動公園を中心に行っています。2月には「第五回J・ヴィレッジなでしこカップ（全国ガールズエイト）」に、関東代表として初出場しました。ガールズエイトとは、ハンドボールのコートやゴールと同じくらいの広さで行われる、8人制のサッカーです。ボールは、少年サッカーと同じ4号球を使用します。ボールは、練習は、パス・トラップ・ヘディングといった基礎から始まります。十分な基礎練習の後は、ミニゲームなど試合を想定した実践的なものに移ります。年齢と成長に合わせたプログラムを組むことで、子供たちのレベルアップが図れるように工夫されています。取材当日は風の強さにも負けず、グラウンド狭しと、無心にボール

を追いかける少女たちの姿がありました。

「高学年から低学年まで、チームのみんなが仲良くサッカーを楽しんでいます。高学年の子が低学年の子にアドバイスをすることも多いです」と話す、監督の永島成男さん（64歳・仙波町三丁目）。試合でピッチを迎えたときに見せるチームの団結力には、定評があるそうです。

「幼稚園からサッカーを始め、4年生の時にこのクラブに入団しました。ボールを自分で持ち、ドリブルで相手をかわしてシュートを決めると最高です」とキャプテンの中島愛莉さん（6年）。5月からは、県大会と関東大会への予選会が始まりました。



2月に福島県で開催された「第5回」J・ヴィレッジなでしこカップでは、初出場ながら決勝トーナメントに進出し、6位の成績を残しました。

まちのできごと
川越市の面積は109.16km²

109パレット

一番街が歩行者天国に

5月3～5日の3日間、一番街周辺で小江戸川越春まつり特別イベントが行われました。

NHK連続テレビ小説「つばさ」の主な舞台となっている、蔵造りの町並みが歩行者天国に。同時に、川越まつり会館前と仲町交差点北側では山車の展示や居囃子が披露され、道行く人の目と耳を楽しませていました。観光客の皆さんは、ガイドブックと土産を手に「ゆっくりと歩けるのがいいね」などと、小江戸川越の春を満喫している様子。人々で道路がいっぱいになった3日間、合わせて約143,000人の人出となりました。

市指定文化財・旧山崎家別邸では、お茶会が開催されました。一番街のにぎわいとは対照的に静かな空間で、お点前が見られる茶席。銘木が使われている和室の雰囲気を楽しみ、抹茶と共に味わっていました。



にぎわいを見せた、一番街の歩行者天国



お茶会に250人が訪れました

笑顔いっぱい、福祉まつり

市社会福祉協議会などが主催の「第19回ふれあい福祉まつり」が、5月17日に伊佐沼公園で行われました。同まつりは、年齢や障害の有無にかかわらず、みんなで参加し、肌で感じ、福祉への理解を深めてもらうものです。ステージコーナーでは、視力障害者によるカラオケ・手話の歌・中学生のよさこいなど、広場では、金魚すくいや模擬店などが行われました。会場内は、約33,000人の皆さんで最後までにぎわっていました。



みんなで舞台、楽しい劇のはじまり！



最優秀賞の賞状とトロフィーを手に笑顔の冨永さん

を語ってくれました。将来は古生物の生態を知ること、地球という生き物「の実態を解き明かすのが目標。今後の活躍が楽しみです。

「国際地学オリンピックでは参加国の人々との交流を深め、いろいろな知識を吸収したいですね。日本で初めての金メダルを目指します」と、決意を語っています。ハワイ島での実習経験もあり、研究はまさに地球規模まで広がっています。

「足下にある地球が、まるで生き物のように活動的であることを知ったとき、圧倒されました」と地学の面白さを語る冨永さん。高校では地学部に所属し、県内のプレート運動を研究したり、川越におけるヒートアイランド現象を探る研究をしたりしています。ハワイ島での実習経験もあり、研究はまさに地球規模まで広がっています。

「4歳の時、恐竜展を見に行ったことがきっかけなんです」。県立川越高校3年生の冨永さんは、地学の知識を競う日本地学オリンピックで、六百八十九人の応募の中から最優秀賞の四人に選ばれました。9月に台湾で開かれる第三回国際地学オリンピックに、日本代表として臨みます。

とみながこうへい
冨永紘平さん（17歳）

